



葛飾北斎「浮世画譜」より

平成24年度 山口県文書館古文書実践講座テキスト

山口町人安部氏の奥州旅日記

② 「みちのく行」
No.2

猿が二匹のりなま... ちーく

おんあめりやう

川口ヨリ山々信ノ在信ノ山山遠ニ

見山石九リ又月ト力多リ日リ

十川ノ方ん五十丁間ハ江有或幾

ノ子ノ分如シ山高ハ五丈に千ハ

三丈五尺風之吹ルマ下ニ東北海上

てこ〜建トシテ必是波多風地

砂ノ有ニむ〜可〜か〜久〜水〜

信ノ方れ似タリ西面如長堤ニ

山上杉松三月とトシテ不刃ノ地

信ノ方

信ノ方ノ信ノ方ノ信ノ方ノ信ノ方

信ノ方ノ信ノ方ノ信ノ方ノ信ノ方

○寄可親海之目ノエタリケレハ跡
モノナリト云テ江ノ東ノ陸ニシ
ケレハ今下ニ三日以テ其ノ系
先
之ケレトシ其形ノ三ニ画
是ノ後奇ノ地ニ有クモリ
本城へ出内帆ノ先キケレ
云ノ凡クシクニテ月也

と江ノ東ノ
船ノ分ノ居

○本城ニ於テ有ク
是ノ目ノ清見
在ナリ
和漢ノ云テ
同ク其地有

一十四日朝立テ
海ノ面刻息物
見シ
是
あり

○息物大神宮

漸道刻息物ノミニ是レヨリ
ナリ

○息托大神宮ニ事也

△桑島香取息托八咫東才
三社ト云

天有御麩西向松林也
社坊有ト云

初在此桑島ノ穴風あり
寸斗ニニテ晴夜如ク空カキ雷鳴

俄大風雨来リ川岸ト思ニキ

カヤ原ノ中へ急走イカントモス

ヤウキク漸抵下リホウセントニ

風乃息托ニ至アヤウカウカ

云上信コトウシニトハ申ル神ノ

ケレハコトウシトニト申方ハ

と申すハおトナク一被コキキナリ
是ツ能出るナリゴトハ各
エモトリク水オムトエイ
昔今揚子江頭ニカシ合々六
ヤウク舟はケリウナリト
コキ出セハ再ニ蘇生ノコナリ
ヒタリトノヒツタリ暗ナリ
クニセハ波ハ舟ヲクカヘスカト
アヤセタレ行へ申方ハ知マレコ
セント、押切ナリ里程リナリ
舟中モ見流ハ尚モカクナリ
ワイニ新舟由ルヘツクナリ

ムカシナリト云フナリ

高根ニツ有テリ其間ヨリ藤水
之夕リノ如シ之カレに東至テ
大園上セテ有リシト云ハレ
ある見急メヨクヤヤヤヤ
ケルヤヤヤヤヤヤヤヤヤヤ
ヨメヨメヨメヨメヨメヨメ

凡モトモニ帆トテテテテ

早ニテテテテ
去浦ノ名 去屋窓三ノ所様坊終也

九方ハキ之 去食ヨリ 水ニ街航

去如白行ノテテテテ ○テテテ

去清氷ト行冷涼アリ又テテ

追分ニ有リ 是ヨリ九リ方

藤水ノ傳ハニリ行 富士沢村

追分迄行 皇ヨリ 九リ方

後忍在信以ニリ行 富士深村

天目山
○法雲寺 孫宗之 御朱印

和願下ナリ 関山堂 結権

関山中法名原 一本世

多治の御意 周宗 徳以 隆

法 云々 云々 云々

教 云々 云々 云々

是ヨリ 云々 云々 云々

云々 云々 云々 云々

田ノ下也 又ハ 程ナリ ナクリナリ

云々 云々 云々 云々

ニリ

山

山形 山形 山形

家 在 地 十 九 由 夕 陽 西 三 力 夕 子

元 瓜 是 及 登 山 山 形 地 一 一 一

山 形 地 一 一 一 〇 一 一 一 有

勅額

天地開闢 筑波神社

右十十集行

〇六而大神宮山ノフセトニ有

〇古一有全二王一体有 妻ヨリ

〇里門有 已高桃矢今一伝ニ

以門ノ根木ヨリ 登下 所家ツリ

六丁月ノ伝 夫ヨリ 登下 一丁

結束 友直 中

以東 雷鳴大雨

又東之... 五丁斗... 如願也

○名岐山 野射 大控規 山喜法十古多不

所社仰向也 山上 宿高秀久心毛ノ一ツ毛

送白也牛 勝射 カキ 不二山見ハ

酒之佳別後アリ嵐 ○ 以方

○日遊山成之 ○ 仙臺山

○カ 辰辰多ウ眼下見

又ヨリ又家 有あ、下リ、安あめク

五丁斗行又五丁斗念

○つくと山女射大控規 御社西

是ヨリ 遠見是 洩子辰カ 丸カ 行

己カ 安あ 元えん 天てん 有あ ○ 以 人じん 求もと 来き 甲

○水みづ 戸と 垂た ○ 以 方かた 眼まなこ 下した 有あ 秘ひ 多た 村

人ひと 見み 糸いと 白しろ 之の 所ところ 女をんな 生なま 地ぢ